

# マーガレット

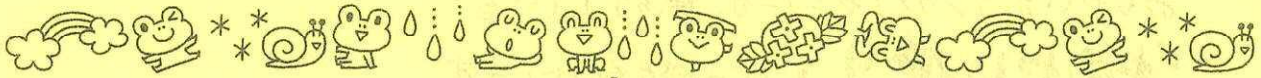
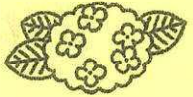


2021年 6月号

杵藤エリア くみかつスタッフ

第三支所 0954-36-3543

うっとうしい梅雨の季節になりましたが 雨に映えるアジサイの花も美しいですね。雨のあいまに虫工を見つけると幸せな気持ちになりますね。



## おもやいボランティアセンターを取材しました。

### 立ち上げたきっかけは…

令和元年8月28日の水害の時、社会福祉協議会ボランティア募集の定数からあふれた人達の気持ちを受け入れるため仲間に声をかけたのがきっかけで発足しました。代表鈴木さんは元々災害支援活動のメンバーとして活動されていました。佐賀市内のボランティア活動グループ「はぐくれ会」のメンバーの協力も得て、「チームおもやい」として活動を開始しました。「できることからやっぺいこう」が基本。



### これまでの活動は…

水害被害のお手伝い・家屋の清掃・炊き出し・被災した家財搬出作業  
相談事業、子供の遊び場提供、サロン活動、写真洗浄など  
防災に関するイベント「おもやいフェス」を開催。西己慮の必要な方を中心として会員制の防災グッズのセット提供事業の実施。生活困窮者を社会福祉協議会につなげる手伝い。

### これからの活動は…

フードバンクにも力を入れていきたい。  
スタッフ13名を武佐佳市の集落支援員として採用してもらって情報共有。  
大町町にできる予定の日本レステュー協会 佐賀県支部(犬とともに)とも連携していく。



### 家庭で準備しておきたいもの…



非常袋の中には、現金、くすり、おくあり手帳、スマホのバッテリー、上着、下着、タオル、スリッパ、歯みがき、眼鏡等も入れておくと便利です。

「おもやいの小情報は裏面もご覧ください。」





## 鈴木代表から一言

「一昨年の水害後、コープさかの皆様をはじめ、多くの方々に支えていただき活動を継続してまいりました。  
 コロナ禍によって、さらに地域内での助け合い支えあいが必要になっております。今後も多くの方と共に「おもやい」をしなからできることを続けてまいります。  
 ぜひご協力をお願いたします。」

## おもやいボランティアセンターが発行している「おもやい便り」の一部を紹介します。

皆さんは防災グッズ、どこに準備していますか？家の2階？玄関？どこに置いておくのが一番正しいのでしょうか。

答えは・・・

**防災グッズは1箇所にまとめない**

災害はいつ起きるか分かりません。皆さんの頭に一番ある「水害」だけでなく、地震や火事など様々な災害があります。だからこそ、防災グッズは日頃から分散させておくことが大事です。

例えば、今おもやいスタッフがやっている防災対策は

家で



- 3日分以上の食料飲料などの備蓄、
- お風呂の水を洗う時まで捨てずに洗う直前に捨てる  
(いつ断水してもトイレや洗濯で使えるよう)
- 胸の高さより高い家具を置かない
- コンセントを使わない電池タイプの人感センサーライトを使う

車で



- 太陽光で充電できるソーラーライトを車内で常に充電
- 身体を保温できる
- アルミシート、長靴、ヘルメットを常備

普段



- 携帯の充電器、
- 小型懐中電灯、
- アルコール消毒&マスク、
- 水筒、飴を常備

まだ足していきたいところもありますが、まずは簡単に変えられるところから変えていきませんか？ほんのちょっとのひと工夫が安心に繋がるかもしれません。

### 【お問い合わせ】

一般社団法人おもやい  
 住所：武雄市北方町大字志久 1931-6  
 電話：0954-33-0444  
 木曜定休

その他、防災イベントをやってみたい、講座には参加できないけど防災グッズを見てみたいなど、なんでもお気軽にご相談ください

